

ASAHI-U.S. Pat. Appl. 09/803,095  
Ref. 69099/2000

2. The invention relating to the following claims of the present application could easily have been invented prior to the present application by a person of ordinary skill in the field of technology pertaining to the invention, based on the invention described in the following publications, which have been in circulation in Japan or abroad prior to the present application. Therefore, in accordance with Patent Law Article 29 Section 2, a patent may not be granted.

Record (See the Reference Citation List to obtain the citation)

Claims 1-9

In Citation 2, reference is made to the fact that, by making a 2X2 optical switch to be in a cross and bar state, the output is split into 2 parts, one of which is used for detection.

In Citation 1, reference is made to the fact that a transmission optical signal is connected to an observation device through an optical switch circuit net, and relative to multiple optical signals, by preparing only a minimum number of observation devices, all of the optical signals can be observed.

In Citation 3, reference is made to a technical concept which splits a subscriber line signal into a detection circuit and an optical call path.

In Citation 4, reference is made to a bridging means which, as the premised construction of the invention of the present application, temporarily prior to switching, the front optical signal output terminal and the destination optical signal output terminal are both connected to an optical path. (Particular reference is made to Claims 3, 4 and 5).

Reference Citation List

1. Japanese Laid Open Patent Publication 2000-232420
2. Japanese Laid Open Patent Publication Hei 05-122745
3. Japanese Laid Open Patent Publication Hei 05-260541
4. Japanese Laid Open Patent Publication 2000-069510



整理番号 47600097PE 発送番号 256550  
発送日 平成14年 8月 6日 1 / 2  
**拒絶理由通知書**

特許出願の番号 特願2000-069099  
起案日 平成14年 7月30日  
特許庁審査官 山中 実 9076 5G00  
特許出願人代理人 山内 梅雄 様  
適用条文 第29条第2項、第36条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

### 理 由

1 この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第2号に規定する要件を満たしていない。

#### 記

請求項3について、

前記光信号の監視を行わないとき・・・あらかじめ決められた1つのポートから出力させるように・・・と記載されているが、なぜあらかじめ決められた1つのポートから出力させるのか？また、そのための具体的な構成は何なのか？明確でなく、具体的な発明の構成が記載されている。

請求項6について、

2つのポートから出力させる経路設定を各ポートごとに順に行うの意味が明らかでなく、具体的な構成が記載されていない。

よって、請求項3、6に係る発明は明確でない。

2 この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

請求項1～9について、

引用文献2には、 $2 \times 2$ 光スイッチをクロスとバー状態にすることで、出力を2分岐し、その一方を検出用として使用するものが記載されている。

引用文献1には、伝送されてきた光信号を光スイッチ回路網を介して監視装置に接続し、多数の光信号に対し、少数の監視装置を用意するだけで、全ての光信号を監視できるものが記載されている。

引用文献3には、加入者線信号を検出回路と光通話路とに分岐する技術思想が記載されている。

引用文献4には、本願発明の前提構成として、一時的に切り替え前光信号出力端子と切り替え先光信号出力端子との双方に光路を接続するブリッジ手段が記載されている。(特に、請求項3、4、5について)

#### 引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開2000-232420号公報
2. 特開平05-122745号公報
3. 特開平05-260541号公報
4. 特開2000-069510号公報

拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

---

#### 先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 IPC第7版 H04Q3/52、H04Q11/04

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。